

事業番号	- 2	事業名	博物館管理				
所管	市長公室	局	博物館	部	学芸	課	
【検討委員の主な意見等】							
<ul style="list-style-type: none"> ・特別展の方が短期間で集客力があるが、専用の特別展会場がないためスムーズに開催できないという問題がある。 ・外部有識者の意見を企画に反映したり、モニタリングやアンケート調査を充実させる等の方策を考える必要がある。 ・学校の教科書で習う堺の印象と旧市街の現状は異なるところもあり、館を更新するなら景色のよい大仙公園を核に整備し、歴史都市堺のイメージ形成を図る。 ・サポーター制度（ファンクラブ）、ボランティアガイドの採用、年間パスポート等の導入など少ない経費で入場者を増やす方は検討できないか。 							
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員	
市で実施(現行どおり)					1	0	
市で実施(強化・拡充)					5	1	
主な具体的強化策	<ul style="list-style-type: none"> ・30年記念事業として、大仙公園の中で特別展企画展を開催可能な場所を考えてみる。 ・堺の歴史PR不足。展示物を手で触れる（ガラスの中のものを見るだけでなく）発掘している現場等も子どもたちに興味を持たせるような努力する。 ・堺市の歴史にふさわしい規模の博物館にするべき。見に行きたくなる展示にしないとダメである。拡充すべき。 						
市で実施(要改善)					8	3	
事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める					(0)	(0)
	市民との協働を推進する					(1)	(2)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する					(0)	(1)
	その他					(0)	(0)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す					(3)	(0)
	他の事業との統合・再編を検討する					(0)	(0)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）					(0)	(1)
	市以外からの財源の確保を図る					(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す					(1)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る					(3)	(1)
	その他					(1)	(0)
主な具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・webページの充実。 ・博物館の基本的目的は、歴史資料を調査し、それを市民に認知させることだと思うので入館者数を向上させることよりも別方法を考えても良いと思う。歴史資料をソフト的にアーカイブしてインターネット上で公開する仕組みを作った方が市民の啓発になるのではないか。 ・目玉となる企画を定期的に行い、出来れば他施設を含めて実施する（例えば仁徳陵ウォークラリーとか）。 ・何を開催しているか伝わってこないし、一般の市民にもどういう展示を希望するか聞くのもいいと思う。 						
実施主体の見直し					2	1	
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる					(1)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい					(1)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる					(0)	(0)
	その他					(0)	(1)
事業は不要					0	0	
選択の理由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）					(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない					(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい					(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき（税金を投入する必要はない）					(0)	(0)
	効果がない（低い）					(0)	(0)
	その他					(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。